

緑の抒情 安次嶺金正展

Poetry in Green [KANEMASA ASHIMINE Exhibition]

2013年9月10日[火] – 10月27日[日]

沖縄県立博物館・美術館 企画ギャラリー1・2

Exhibition Gallery 1 & 2 Okinawa Prefectural Museum & Art Museum

開館時間：9:00～18:00（金・土は20:00まで。入館は閉館30分前まで）

休館日：月曜日（月曜が祝祭日のときは開館、翌日閉館）

観覧料：一般 800円（640円）、大学生・高校生 500円（400円）、中学生・小学生 300円（240円）

*（ ）内は、前売り及び20名以上の団体料金

Opening Hours: 9:00 - 18:00 (Fridays and Saturdays until 20:00)

Entrance up to 30 minutes before closing time.

Closed on Mondays.

(when Monday is a holiday, the following business day, closed on the next day)



緑の抒情 安次嶺金正展

Poetry in Green [KANEMASA ASHIMINE Exhibition]

本土における緑の木と青い空は、静寂と安定であるが、
沖縄における緑の木と青い空は期待と希望である。

「本土における緑の木と青い空は、静寂と安定であるが、沖縄における緑の木と青い空は期待と希望である。」安次嶺金正（あしむねかねまさ）が遺した言葉である。1941年（昭和16年）、東京美術学校を繰り上げ卒業後、4年の兵役と2年の捕虜生活に耐えてマレー半島から帰還する。しかし、終戦後はじめて目にした故郷沖縄の風景は、変わり果てていた。沖縄文化の復興を願い、模索し続けた安次嶺が目指した表現とは、そして緑色を基調に描き続けた想いとは.....。

* * *

沖縄県立博物館・美術館では郷土出身作家の足跡をたどり、それぞれの芸術の精華を展望する「沖縄の美術シリーズ」を開催しています。

今回は、戦後沖縄の美術界をリードした画家、安次嶺金正（1916～1993）を紹介いたします。安次嶺金正は戦後、ニシムイ美術村での活動や、美術の振興に尽力し、独自の絵画論を展開した画家です。また、琉球大学では後進の指導にあたりました。本展覧会では作品や関連資料から安次嶺金正の軌跡をたどり、安次嶺芸術の世界をご観いただけます。

※ニシムイ美術村 1948年、現在の首里儀保に多くの画家が集い、芸術活動を行った。



1. アトリエにて 2. 「祭り」1975 3. 「赤い布と少女」1948 4. 「佇住」1958 5. 「青い空」1972

シンポジウム「安次嶺金正の絵画」

2013.9.29 [14:00-17:00]

沖縄県立博物館・美術館 講堂

基調講演：稲嶺成祚（琉球大学名誉教授）

パネリスト：稲嶺成祚、仲井間憲児（評論家）、岸本一夫（デザイナ―）、永津禎三（琉球大学教授）

コーディネーター：仲里安広（担当学芸員）

ギャラリートーク①

2013.9.14 [14:00-15:00]

企画展示室

安次富長昭

（琉球大学名誉教授）

ギャラリートーク②

2013.10.27 [11:00-12:00]

企画展示室

稲嶺成祚

（琉球大学名誉教授）

キュレータートーク

① 2013.9.21 [11:00-12:00]

② 2013.10.5 [11:00-12:00]

企画展示室

仲里安広（担当学芸員）

[プレイガイド]ミュージアムショップゆいむい、コープあぶれ、ファミリーマート各店（イープラス）、ローソン（Lコード88467）、リウボウサービスカウンター（パレットくもじ8F）、ジュンク堂書店那覇店、Booksきょうはん美浜店・一日橋店・とよみ店・安謝店、球陽堂書房那覇メインブレイス店・西原シティ店、TSUTAYA那覇新都心店・首里店

【アクセス】 【沖縄都市モノレール（ゆいレール）】

【バス】 ◇那覇空港発

◇市内線

◇市外線

・おもろまち駅下車...徒歩10分

・99番線 おもろまち3丁目バス停下車...徒歩5分

・120番線 上之屋バス停下車...徒歩10分

・3,7,10番線 県立博物館前バス停下車

・6番線 メインブレイス東口バス停下車...徒歩10分

・バイパス経由 おもろまち駅前バス停下車...徒歩10分

・国道58号経由 上之屋バス停下車...徒歩10分

・おもろまち行 おもろまち1丁目バス停下車...徒歩3分

